

ナント地域経済調査結果【2017年1～3月期】

～奈良県内の景気は3期連続で小幅改善したが、先行きには不透明感あり～

はじめに

地域の経済状況を把握する「ナント地域経済調査【2017年1～3月期】」を実施し、その結果を取りまとめました。本調査は、南都銀行の各支店長に対するアンケート調査を通じて、地域の景気の水準・方向性を把握することを目的とするものです（調査概要は本稿最終ページに記載）。

1 支店長が判断する景気の水準

1. 総合判断

今期（2017年1～3月期）の景気水準は、奈良県全体で△13.9となり、前期（2016年10～12月期）の△14.9より1.0ポイント改善（前期比、以下同じ）した。これにより、総合判断の水準は3期連続の改善となった。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2016年10-12月期)	△14.9	△11.4	△6.9	△10.9	△16.1	△11.5	△18.8
今期(2017年1-3月期)	△13.9	△11.9	△9.9	△10.1	△15.4	△14.9	△17.6
前期比(ポイント)	1.0	△0.5	△3.0	0.8	0.7	△3.4	1.2

エリア別にみると、北和地区は前期の△6.1から横ばい、中和地区は同△13.1から△10.7へと3期連続の改善、東部・南和地区は同△38.9から横ばいとなった。

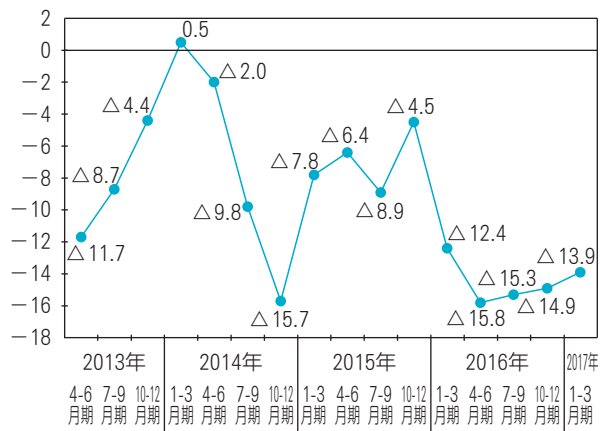
また他府県では、大阪府が前期の△4.2から横ばい、京都府が同△8.8から△5.9へ2期ぶりの改善、和歌山県は同△16.7で4期連続の横ばいとなった。

以上により、エリア別の景気水準は、中和地区と京都府が改善、北和地区、東部・南和地区、大阪府、和歌山県が横ばいとなった。

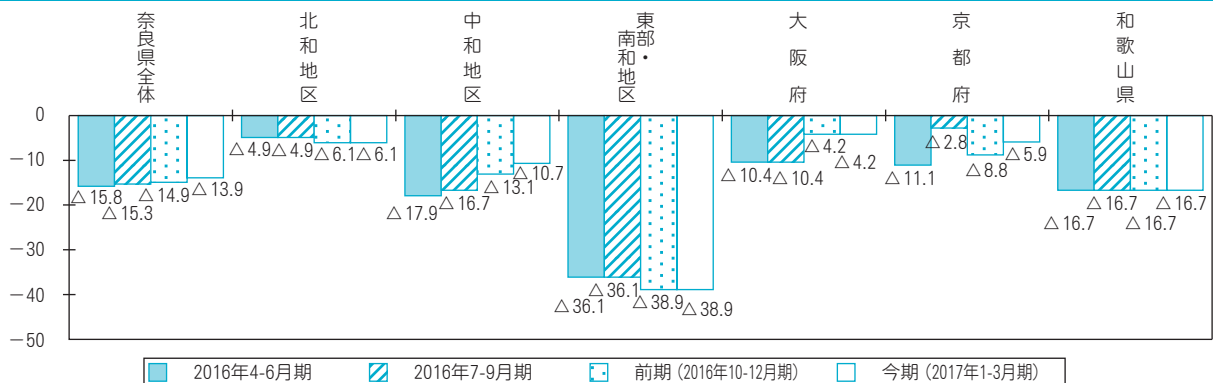
2. 奈良県全体の景気水準の推移

これまでの奈良県全体の景気水準の動きをみると、2012年4～6月期の調査開始以降上昇トレンドを続け、2014年1～3月期には0.5と調査開始以来唯一のプラス値を記録。その後はマイナス圏内での動きとなり、今期は△13.9と3期連続の改善となった（再掲）。

景気水準の推移（奈良県、総合判断）



景気水準（総合判断）



（注）大阪府、京都府、和歌山県の各営業エリアは、当該府県域全体を対象としていないので注意（南都銀行の支店所在地エリアが対象）。

3. エリア別に見た項目ごとの景気水準

(1) 北和地区

【個人】消費、資金需要はいずれも横ばい。

【企業】生産活動 (+1.1 ポイント)、収益 (+0.9 ポイント)、設備投資 (+3.4 ポイント)、資金需要 (+5.9 ポイント) はいずれも改善。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2016年10-12月期)	△6.1	△9.8	△2.4	△3.8	△7.7	△11.5	△15.4
今期(2017年1-3月期)	△6.1	△9.8	△2.4	△2.7	△6.8	△8.1	△9.5
前期比(ポイント)	0.0	0.0	0.0	1.1	0.9	3.4	5.9

(2) 中和地区

【個人】消費 (△1.2 ポイント)、資金需要 (△3.6 ポイント) はいずれも悪化。【企業】生産活動 (+3.7 ポイント)、収益 (+1.2 ポイント) は改善。設備投資 (△6.1 ポイント)、資金需要 (△3.7 ポイント) は悪化。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2016年10-12月期)	△13.1	△10.7	△3.6	△13.4	△17.1	△2.4	△12.2
今期(2017年1-3月期)	△10.7	△11.9	△7.1	△9.8	△15.9	△8.5	△15.9
前期比(ポイント)	2.4	△1.2	△3.6	3.7	1.2	△6.1	△3.7

(3) 東部・南和地区

【個人】消費は横ばい。資金需要 (△8.3 ポイント) は悪化。【企業】資金需要 (+3.1 ポイント) は改善。収益は横ばい。生産活動 (△6.3 ポイント)、設備投資 (△12.5 ポイント) は悪化。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2016年10-12月期)	△38.9	△16.7	△25.0	△21.9	△34.4	△34.4	△43.8
今期(2017年1-3月期)	△38.9	△16.7	△33.3	△28.1	△34.4	△46.9	△40.6
前期比(ポイント)	0.0	0.0	△8.3	△6.3	0.0	△12.5	3.1

(4) 大阪府

【個人】消費 (+2.1 ポイント) は改善。資金需要 (△2.1 ポイント) は悪化。【企業】生産活動 (+2.1 ポイント)、収益 (+2.1 ポイント)、設備投資 (+8.3 ポイント) は改善。資金需要は

横ばい。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2016年10-12月期)	△4.2	△10.4	△4.2	△4.2	△4.2	△10.4	△12.5
今期(2017年1-3月期)	△4.2	△8.3	△6.3	△2.1	△2.1	△2.1	△12.5
前期比(ポイント)	0.0	2.1	△2.1	2.1	2.1	8.3	0.0

(5) 京都府

【個人】消費 (△5.9 ポイント)、資金需要 (△8.8 ポイント) はいずれも悪化。【企業】生産活動 (+14.7 ポイント)、収益 (+2.9 ポイント)、資金需要 (+2.9 ポイント) は改善。設備投資は横ばい。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2016年10-12月期)	△8.8	△2.9	0.0	△8.8	△11.8	0.0	△11.8
今期(2017年1-3月期)	△5.9	△8.8	△8.8	5.9	△8.8	0.0	△8.8
前期比(ポイント)	2.9	△5.9	△8.8	14.7	2.9	0.0	2.9

(6) 和歌山県

【個人】資金需要は横ばい。消費 (△5.6 ポイント) は悪化。【企業】設備投資、資金需要は横ばい。生産活動 (△5.6 ポイント)、収益 (△5.6 ポイント) は悪化。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
前期(2016年10-12月期)	△16.7	△16.7	△16.7	△16.7	△11.1	△38.9	△16.7
今期(2017年1-3月期)	△16.7	△22.2	△16.7	△22.2	△16.7	△38.9	△16.7
前期比(ポイント)	0.0	△5.6	0.0	△5.6	△5.6	0.0	0.0

2 支店長が判断する来期の景気の方向性

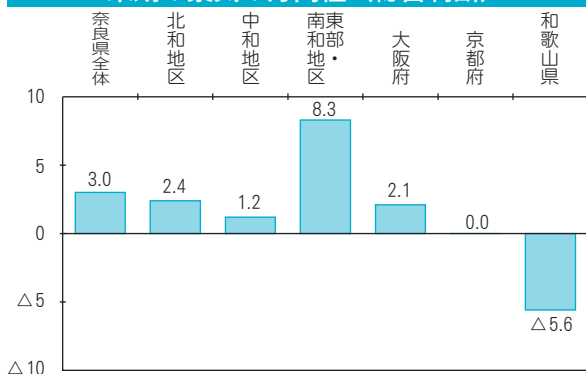
1. 総合判断

今期からみた「来期 (2017年4~6月期) の景気の方向性 (総合判断)」の予測は、奈良県全体で3.0と改善 (今期との比較、以下同じ) の見込み。

	総合判断	個人		企業			
		消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
来期(4-6月期)の方向性	3.0	1.0	1.0	2.1	△2.7	4.8	△1.1

これをエリア別に見ると、北和地区 (2.4)、中和地区 (1.2)、東部・南和地区 (8.3) はいずれも改善の予測となっている。

来期の景気の方角性（総合判断）



他府県では、大阪府（2.1）が改善、京都府が横ばいの予測である一方、和歌山県（△5.6）が悪化の予測となっている。

2. エリア別、項目別にみた来期の景気の方角性

（1）北和地区

【個人】消費（3.7）、資金需要（2.4）はいずれも改善の予測。【企業】生産活動（2.7）、設備投資（5.4）、資金需要（2.7）は改善の予測。収益は横ばいの予測。

総合判断	個人		企業				
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要	
来期(4-6月期)の方向性	2.4	3.7	2.4	2.7	0.0	5.4	2.7

（2）中和地区

【個人】資金需要は横ばいの予測。消費（△3.6）は悪化の予測。【企業】生産活動（2.4）、設備投資（3.7）は改善の予測。収益（△6.1）、資金需要（△4.9）は悪化の予測。

総合判断	個人		企業				
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要	
来期(4-6月期)の方向性	1.2	△3.6	0.0	2.4	△6.1	3.7	△4.9

（3）東部・南和地区

【個人】消費（5.6）は改善の予測。資金需要は横ばいの予測。【企業】設備投資（6.3）は改善の予測。生産活動、収益、資金需要は横ばいの予測。

総合判断	個人		企業			
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要
来期(4-6月期)の方向性	8.3	5.6	0.0	0.0	6.3	0.0

（4）大阪府

【個人】消費（6.3）、資金需要（2.1）はいずれも改善の予測。【企業】生産活動（2.1）、収益（4.2）は改善の予測。設備投資、資金需要は横ばいの予測。

総合判断	個人		企業				
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要	
来期(4-6月期)の方向性	2.1	6.3	2.1	2.1	4.2	0.0	0.0

（5）京都府

【個人】消費（5.9）は改善の予測。資金需要は横ばいの予測。【企業】生産活動（8.8）、設備投資（5.9）、資金需要（8.8）は改善の予測。収益は横ばいの予測。

総合判断	個人		企業				
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要	
来期(4-6月期)の方向性	0.0	5.9	0.0	8.8	0.0	5.9	8.8

（6）和歌山県

【個人】消費（△11.1）、資金需要（△11.1）はいずれも悪化の予測。【企業】生産活動（△5.6）、収益（△11.1）、設備投資（△16.7）、資金需要（△11.1）はいずれも悪化の予測。

総合判断	個人		企業				
	消費	資金需要	生産活動	収益	設備投資	資金需要	
来期(4-6月期)の方向性	△5.6	△11.1	△11.1	△5.6	△11.1	△16.7	△11.1

3 奈良県内の景気の水準および方向性のまとめ

奈良県内の景気は、△15.8→△15.3→△14.9→△13.9（今期）と推移しており、3期連続の改善となった。

個人においては、賃金の伸び悩みや景気の先行き不透明感等から個人消費がやや弱含んでいる。資金需要は、ホームローン等のニーズは地域により濃淡があり、全体的には横ばいもしくは弱含み。

企業においては、生産活動は、一部に好調な企業も見られるものの、全体的には横ばい。収益面では、円安傾向によるコスト高の悪影響を受ける企業も見られ、全体的には横ばい。設備投資は一

部の企業に前向きな動きも散見されるが、全体的には慎重姿勢で力強さを欠く。

来期（2017年4～6月期）については、生産活動や国の補助金・交付金等を活用した設備投資などを中心にやや上向き見込み。総合判断は3.0と改善する予測だが、コスト増や人材不足などの不透明感もある。

（吉村謙一）

調査の概要

（1）調査方法

南都銀行各支店の営業範囲における地域経済の状況について、店頭での取引状況や取引先企業、自治体・商工会等へのヒアリングなどにより総合的に判断した結果を各支店長がアンケート回答（アンケート実施時期は2017年3月中旬～下旬）。

（2）調査項目

景気の水準と方向性に関して、個人の2項目（消費、資金需要）および企業の4項目（生産活動、収益、設備投資、資金需要）について5段階で評価し、その評価に基づき総合判断を行う。

（3）景気の水準・方向性の数値の算出方法

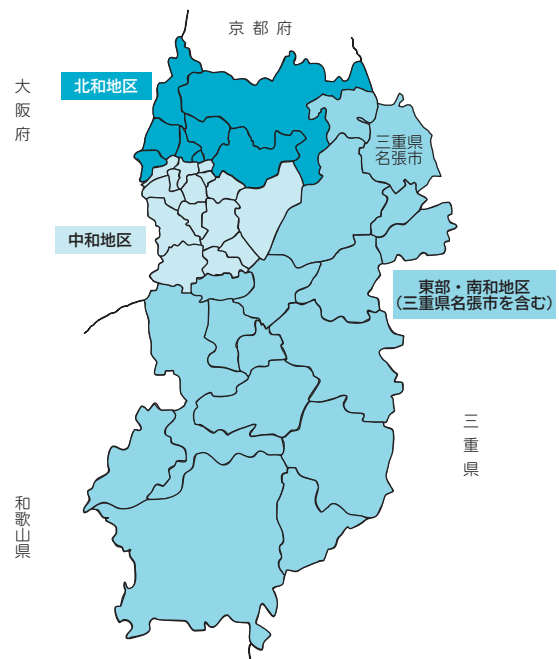
景気の水準・方向性を「良い・改善＝2点」「やや良い・やや改善＝1点」「どちらともいえない・不変＝0点」「やや悪い・やや悪化＝-1点」「悪い・悪化＝-2点」の5段階で判断。エリア別の合計点を、すべて「良い・改善＝2点」とした場合の合計点で除した数値に100を乗じて算出（評価の最高は100、最低は△100となる）。

なお、支店規模に応じてウェイト調整を実施している。また、四捨五入の関係で末尾の数字が合わない場合がある。

（4）対象エリア

本調査においては、奈良県（三重県名張市を含む）を「北和」「中和」「東部・南和」の3つのエリアに分け、大阪府（兵庫県尼崎市を含む）、京都府、和歌山県は各府県を1つのエリアとしている。

＜奈良県のエリア区分＞



エリアと支店所在地および支店数

エリア	支店所在地（マル数字は支店の数）
奈良県	北和地区【29か店】 奈良市⑯、大和郡山市③、天理市③、生駒市⑤、平群町①、三郷町①、斑鳩町①、安堵町
	中和地区【30か店】 大和高田市③、橿原市⑥、桜井市②、御所市③、香芝市③、葛城市②、川西町②、三宅町、田原本町①、高取町①、明日香村①、上牧町①、王寺町②、広陵町②、河合町①
	東部・南和地区【13か店】 五條市①、宇陀市③、山添村、曾爾村、御杖村、吉野町①、大淀町①、下市町①、黒滝村①、天川村、野迫川村、十津川村①、下北山村①、上北山村、川上村①、東吉野村①、三重県名張市①
大阪府【19か店】	大阪市⑥、堺市②、八尾市①、泉佐野市①、河内長野市①、大東市①、和泉市①、羽曳野市①、東大阪市④、兵庫県尼崎市①
京都府【11か店】	京都市②、宇治市①、城陽市①、京田辺市②、木津川市③、井手町①、精華町①
和歌山県【6か店】	和歌山市①、橋本市②、紀の川市①、岩出市①、高野町①

（注）市区町村コード順に記載。なお奈良県内でも支店が存在しない市町村がある。